決議 一月十二日 済

[redacted]

五一日 鉄

軍ヲ三卿

主新第一号ノ二

明治十八年一月四日

主務

主船局長 赤松 主任

會計局長 主任

總務局長 審査

卿 輔 樺山

要塞艦ト同形ノ砲艦壱艘石川島造船所ニ於テ製造方ノ義ニ付決裁為ス可キ旨演説

造船及目録品費額積算方演説所ニ平壓

富二相違ニ付来銀貸壱万弐拾万九

千五百余ニ付壱万円ヲ別紙甲印ニ付ノ出

普第二六三號

百

0228

登録

軍務

文保

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

右銀貨ヲ假ニ紙幣壱拾錢ノ右場ト見
做シ通貨ニ直シ共計セハ通貨拾六万四千五百
余ノ内ニシテ敢テ不足ヲ唱ヘ徒ラニ右中出
費額ハ詳細ニ付ス凡印金書類保
仰高裁也

0229

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

参照

一愛宕艦　製造代概算金拾六万七千円

但横須賀造船所ニ於テ製造スヘキ分

一摩耶艦　製造代概算金拾八万六千四百円

但小野濱造船所ニ於テ製造スヘキ分

右両艦ノ長幅其他トモ渾テ本文砲艦ト同シ

百一

海軍省

0230

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

甲

今般二等砲艦御製造方ニ付船体及器械一式ノ仕様書并ニ図面御下渡ニ相成右打建入費取調方被仰付旋有仕合ニ奉存候即チ別紙ノ通ニ御座候間御調査ノ上何卒御用被仰付度奉願候果シテ御用被仰付候得ハ相当ノ抵當品并ニ身元保証人等ハ御指命ニ従ヒ何時モ差出可申候且ツ右新造方御約定ノ上工事着手ノ節別紙代價ノ中三分ノ一御下渡相願其余ハ工事出来高ニ應シ時時御検査ノ上御下渡被成下度奉願候尤モ本艦製造日限ノ義ハ御下命ノ日ヨリ二十三ヶ月間ニ落成納付可仕候此段上申仕候也

明治十八年一月廿日

百二

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

海軍省

主船局御中

平野富二

0232

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

壱等砲艦製造代價調書

一銀貨五萬円也

一金拾萬九千五百円也

共計金拾六萬四千五百円也

但銀貨壱円ハ金壱円拾弐ノ見込ヲ以

内譯

金四萬四千百六拾円　蒸氣器械ニ組代

金弐萬三千六百七拾弐円　瀝罐弐個代

金五千五百六拾四円　器械及汽罐豫備品代

金九萬千百〇四円　船体一式代

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

仰高

右之通ニ御座候也

明治十八年

一月廿日　平野富二

海軍省

主船局御中

海軍省

0234

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

乙

命令書案

一今般軍艦壱艘製造方銀貨五萬円通貨拾萬千五百円ヲ以テ請負申付ルニ付左ノ条々可相心得事

第一條

一鉄製軍艦　壱艘

長直線間長　百五拾四フヰート　三インチ

極端幅員　二拾六フヰート十一インチ

艙深（テフスモールテット）　拾三フヰート七インチ

吃水　前部　ハフヰート　ハインチ
後部　十フヰート　ハインチ

船体ハ当局ヨリ渡セル雷面并目録ニ因テ之レヲ製造シ其詳細ハ当局監督ヨリ時々示ストコロノ注文ニ應シテ整備スルモノトス

機関及ビ汽罐ハ横置連合双螺旋ニシテ七百実

0235

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

馬力（風送機ヲ使用スル時ハ凡九百五拾馬力）ニ
適當シ瀛力ハ八拾「ポント」ヲ保ツヘキ瀛罐トス
全機関ノ組織等ハ當局ヨリ渡セル箇面并目録
ニ因テ之レヲ製造シ其詳細ハ監督ヨリ時々示セル
注文ニ應シテ整備スルモノトス

第二條

一デイーテール箇面ハ其造船所ニ於テ之ヲ製シ當
局ノ認可ヲ得テ製造ニ着手スヘシ

第三條

一製造ノ期限ハ明治十八年　月ヨリ向二十三ヶ月
間即明治二十年　月迄ニ全ク竣成スルモノトス
若シ該期ヨリ遅延スル時ハ一ヶ月毎ニ請負代價ノ
百分ノ一宛減スヘキ事

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

但著シキ天災或ハ防護ノ及ハサル変難ニ因リ損害ヲ釀シタル為メニ遅延スルハ此限リニアラス

第四條

一木材ヲ以テ製造スヘキ部分ハ最モ堅強ナル良材ニシテ具乾燥シタルモノヲ撰ミ鐵骨鐵板ハ製造目録ニ示セル如ク良鉄ヲ以テ製造スヘシ其他銅真鍮帆布綱具等總シテ各種ノ物品ハ最モ精撰品ノミヲ採リ充分ニ保存為シ得ヘキモノヲ用ユヘシ

但綱具ハ横須賀造船所製ノモノタルベシ

第五條

一凡此軍艦ノ製造ニ用ユヘキ諸材諸物品ハ之レヲ使用シ之レヲ附着スルノ以前監督ノ撰定ヲ受クヘキ

0237

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

了トス

第六條

一製造中諸材諸物品ノ検査ニ臨ミ監督ニ於テ原材ノ良否ヲ試験セシムヲ要スレハ之レヲ應シ監督ノ不良ト認ムル部分アル欲或ハ使用ノ物品粗悪ナリト認ムルモノハ決シテ使用スルヲ許サス既ニ使用シタル部分ノ不良ナルハ仕直シ引換等ヲナサシムルヿアルヘシ故ニ請負者ニ於テ其損失ヲ招カザル様特ニ注意ヲ拿フシ製造方ヲ為スヘシ

第七條

一速力ハ試運轉ノ節一時間拾ノウトノ割出シヲ以テ製畫ナシタルモノナリ故ニ請負者ニ於テ緻密ニ注意シ殊ニ其満足ヲ要トス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第八條

一船体部機関部ノ組織ハ注文者ノ製箇ニ基クヘシト雖モ不了解ノ廉アラハ當局ヘ尋出テ篤ト會得セシ上其部分ニ着手スヘシ

第九條

一本艦落成ノ際試運轉ニ係ル入費ハ請負代金内ニテ一切辯スルモノトス

第拾條

一製箇并ニ注文ニ適セサル部分アル欲又ハ原材ノ不良ナルモノアリテ之ヲ仕直シ若シクハ引換ヲナサシハルニ付テノ入費ハ総テ請負者ニ於テ弁スヘシ若シ注文外ニ當局ノ都合ニ依リテ改造改正等ヲ為サシハルニ付増費ヲ要スルトキハ當局ヨリ拂渡スヘシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第拾一條

一請負代銀貨五萬円通貨拾万九千五百円ハ之レヲ六回ニ分チ當局ヨリ拂渡スヘシ

第一回　銀貨壱万六千六百円通貨三万六千五百円ハ以命令書ニ對シ請書ヲ差出セル當日ヨリ五日間ニ渡スヘシ

第二回　銀貨壱万六千七百円ハ鐵骨鐵板類ノ撰定濟ノ日ヨリ五日間ニ渡スヘシ

第三回　銀貨壱万六千七百円ハ本艦船臺ニアリ艦体ノ助材ヲ建ツリ機関部ハ重ナル部分ノ鐵物及鍛物略出来ノ検査濟ノ日ヨリ五日間ニ渡スヘシ

第四回　通貨貳万四千三百円ハ本艦船臺ニアリ艦体組織及機関部ノ組立大略落成セレヲ確認

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ノ時ニ渡スヘシ

第五回　通貨貳万四千三百円ハ進水式ヲ為シタル時渡スヘシ

第六回　通貨貳万四千四百円ハ試運轉ヲ為シ渾テ不都合無之當局ヘ本艦受取濟ヲ期トシテ渡スヘシ

第拾二條

一請負代價ノ内當初銀貨壱萬六千六百円通貨三万六千五百円ヲ下渡スヲ以其際談額ニ對シ相当ノ抵當物ヲ當局ヘ差入ルヘシ第二回以降渡金ノ節本艦ノ現出来形ニ對シ渡金額ノ方超過ト認ムル時ハ其都度相當ノ抵当物ヲ増加スルモノトス

第拾三條

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一本艦竣成ノ上當局ヘ受収スルノ後十二ヶ月ヲ経サル間ニ蒸気機関或ハ蒸気罐ニ本艦乗員者ノ不注意ニアラスシテ破損ヲ生シタル時ハ双方立會点検ノ上全ク粗製或ハ粗悪ナル原材ヨリ生シタル破損ト確認スルトキハ請負者ニ於テ善良品ヲ以引換或ハ修理スヘシ之ニ係ル入費ハ請負者ニ於テ弁スルハ勿論ノ事

第拾四條

一船臺ニテ工事ヲ始ムルニ至テハ其上ハ屋ヲ設クヘシ

但屋上ハ亜鉛或ハブリッキ張ニ為スヘキ事

第拾五條

一本艦製造中昼夜火防ノ取締ハ充分ニ為スヘシ萬

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一不幸ニシテ火災ニ罹リモシ請負者於テ製造為シ得サル欠又ハ丈カ為メ落成時期ヲ失スルニ於テハ此命令ヲ取消スヘシ其場合ニ於テハ既ニ渡濟金額ハ毎渡期ヨリ起算シ壱割ノ利子ヲ添ヘ當局ヘ返償スヘシ

第拾六條

一製造中ナル本艦ハ勿論本艦製造用ニ供スヘキ諸機械諸材料ニシテ当局監督於テ検査濟ノモノハ都テ当局ノ所有ト見做スモノトス

海軍省

明治十八年　月　日　主船局

石川島造船所

平野富二殿

百八　一　製造　八

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

右御命令ノ條々部ヲ拝承万一富ニ於テ不行届ノ義モ候ハヽ保証人ニ於テ引受履行致シ御差支ハ勿論御損失等決シテ相掛不申候依テ連署御請仕候也

明治十八年　月　日

製造引受人　平野富　印

保証人　何ノ誰　印

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp